

# 元吉原地区のまちづくりの目標(将来像)

みんなで作ろう

住みたい・訪れてみたい

魅力あるまち 元吉原

## 元吉原地区のまちづくりの方針

### 1 安全・安心の確保

地震や津波、大雨などへの備えを充実し  
“自然災害に強い安全・安心なまち”をつくる

地震や津波、大雨などの自然災害の発生に備え、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策を進めるとともに、復興に向けた事前の取組や復興まちづくりの体制づくりといった「事前復興」を進めるなど、自然災害に強い安全・安心なまちをつくりまします。



### 2 少子高齢化への対応

少子高齢化に対応した  
“子どもやお年寄りが安心して住み続けられるまち”をつくる

子どもたちが健やかに育ち、子育て世代が安心して子育てできる環境と、高齢者が生きがいをもち、これまでに培った知恵と経験を活かして活躍できる環境を地域ぐるみで整え、子どもやお年寄りが安心して住み続けられるまちをつくりまします。



### 3 生活・交流基盤の維持・再生

住む人にも来る人にも便利で快適な  
“暮らしやすく訪れやすいまち”をつくる

生活道路・路地・公園などの基盤施設や、駅・公共施設など多くの人が集まる交流施設の維持・再生を進め、地区に住む人にとっても地区を訪れる人にとっても便利で快適な、暮らしやすく訪れやすいまちをつくりまします。



### 4 自然・歴史の活用

豊かな自然とロマンあふれる歴史を活かした  
“個性あふれる魅力的なまち”をつくる

富士山の眺望や桜・松・浮島ヶ原などの豊かな自然資源と、地区の随所に点在しているロマンあふれる歴史資源を守りつつ、これらがさらに引き立つように有効に活用し、元吉原ならではの個性あふれる魅力的なまちをつくりまします。



### 5 地域コミュニティの活性化

地区の特性を活かしたイベントや情報発信等を充実し  
“多くの出会いとふれあいのあるまち”をつくる

元吉原ならではの風景・自然・歴史・産業などを活かし、地域が主体となって、元吉原の潜在的な魅力を引き出し・アピールする各種のイベントなどを充実し、多くの出会いとふれあいのあるまちをつくりまします。



# 元吉原地区のまちづくりの実現に向けて

具体的な取組のうち、短期的な実現を目指すもの

### 1 安全・安心の確保

- 備蓄倉庫の確保
- 住宅等建築物の安全確保
- 避難訓練の充実化
- 自主防災組織の強化
- 情報伝達手段の拡充
- 復興まちづくりを担う機能の明確化

### 2 少子高齢化への対応

- 学校と地域の連携強化
- 子ども・若者への見守り、声かけ運動の実施
- 地区文化祭の充実化
- 高齢者への見守り、声かけ運動の実施

### 3 生活・交流基盤の維持・再生

- 防犯看板、交通安全看板の設置
- 落書き等防止のための啓発看板の設置、定期的な海岸清掃
- ごみステーション周辺の清掃
- 富士山の景観スポットの整備
- 安心して気軽に利用できる公園の整備と定期的な清掃の実施
- 公共交通・コミュニティ交通の充実化

### 4 自然・歴史の活用

- 沼川の拠点づくりと保全
- 浮島ヶ原自然公園の保全・活用
- 松林の保全
- 潮土手の再生と活用
- 桜の名所としての沼川の活用
- 浮島ヶ原の自然に親しむ場の活用
- 富士塚の再整備と活用
- 地域のシンボルとしての毘沙門天の活用

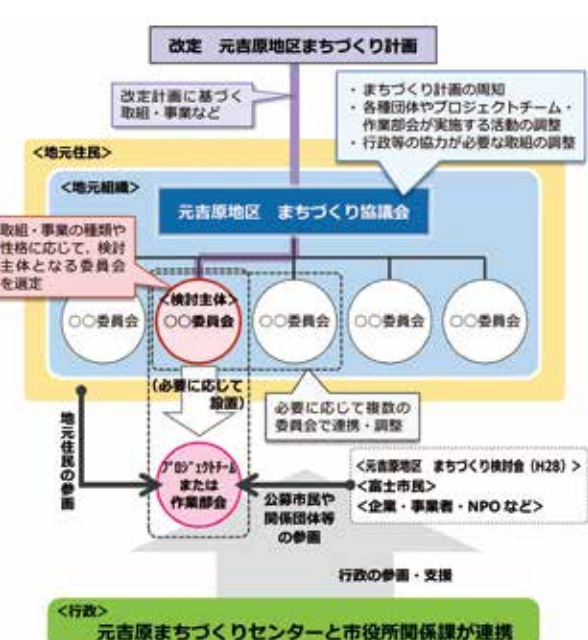
### 5 地域コミュニティの活性化

- 地域や住民のニーズにあった多世代交流型イベントの開催・充実
- まちづくりセンターなど公共施設の機能維持・充実
- まちづくりニュースや SNS を活用した情報発信
- 富士塚や登山ルート 3776 の PR
- サイクリングコース・ハイキングコース・富士山景観スポットの設定
- 元吉原の地区資産やイベントなどの PR の実施



## まちづくりの推進体制

今後、本計画に基づくまちづくり活動は、元吉原地区まちづくり協議会が中心となって進めます。具体的な取組の推進にあたっては、必要に応じて、地区の皆さんや事業者、NPO などからなるプロジェクトチームや作業部会を設立していきます。



お問合せ先 ◆元吉原地区まちづくり協議会(事務局・元吉原まちづくりセンター)  
TEL: 0545-33-0170 FAX: 0545-33-0255  
E-Mail: c-motoyoshihara@div.city.fuji.shizuoka.jp

編集 ◆富士市役所 都市整備部 都市計画課(都市政策担当)  
TEL: 0545-55-2786 FAX: 0545-51-0475  
E-Mail: toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp

## 富士市都市計画マスタープラン 地区別計画

# 元吉原地区まちづくり計画

改定版

概要版

みんなで作ろう 住みたい・訪れてみたい 魅力あるまち 元吉原



平成29年4月発行  
元吉原地区まちづくり計画検討会  
富士市都市整備部都市計画課

# 元吉原地区のまちづくり計画について

地区まちづくり計画の位置づけ

## ◆富士市都市計画マスタープランを具体化する、地区単位のまちづくり計画

地区まちづくり計画とは、富士市都市計画マスタープランの地域別構想に示した、ブロックごとのまちづくりの考え方を具体的に展開していくための、地区単位のまちづくり計画です。

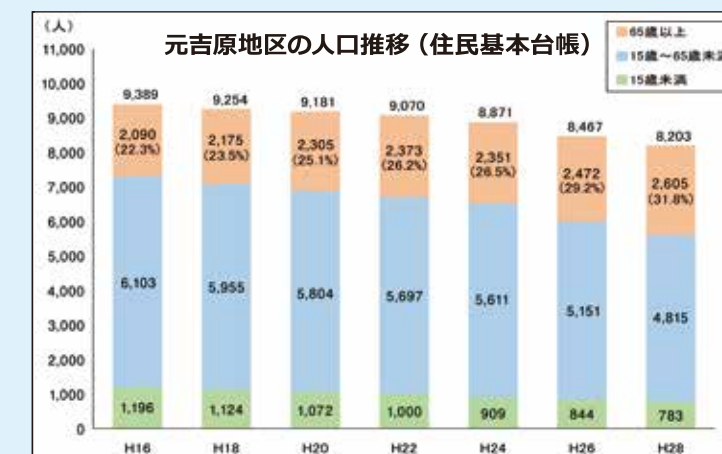
<改定版>元吉原地区まちづくり計画について

## ◆元吉原地区まちづくり計画の改定の背景

「元吉原地区まちづくり計画」は、平成16年3月に策定された「富士市都市計画マスタープラン」の東部ブロックのまちづくり構想を具体化する地区まちづくり計画として、平成20年3月に策定されました。しかし、策定後約8年の時間が経過するなかで、元吉原地区では以下のような社会情勢の変化がみられたことから、時代の変化に対応した計画に改定することとしました。

## ◆人口減少・高齢化の進行

元吉原地区の人口は減少傾向が続いており、過去10年の人口減少率は富士市26地区のなかで2番目に高くなっています。また、元吉原地区の65歳以上人口の割合は約31.8%であり、高齢化率についても、富士市26地区のなかで2番目に高くなっています。



## ◆南海トラフ巨大地震への危機感の高まり

平成23年の東日本大震災を受け、静岡県では、平成25年に南海トラフ巨大地震の発生を前提とする第4次地震被害想定をとりまとめました。これによると、田子の浦港から流入した津波により、居住地周辺において最大3mの浸水被害が発生すると想定されています。



元吉原地区の津波浸水想定区域(第4次地震被害想定)

## ◆「富士市都市計画マスタープラン」の改定

上記の社会情勢の変化等を受け、平成26年2月に「富士市都市計画マスタープラン」を改定し、これまでの「つくる・ふやす」考え方から、人口減少を前提とした「いやす・まもる」考え方に軸足を移し、人口が減少しても暮らしの質が低下しない「持続可能なまちづくり」を進めていくこととしました。

## ◆元吉原地区まちづくり計画検討会の設立と地域の主体的な関わり

「元吉原地区まちづくり計画」改定のために、元吉原地区に関わる方々(まちづくり協議会・町内会・元吉原小学校PTA・元吉原中学校PTA・公募住民など)で構成する「元吉原地区まちづくり計画検討会」を設立しました。検討会の運営にあたっては、誰もが自由な雰囲気の中で意見やアイデアを出すことができるよう、ワークショップ方式を取り入れ、計7回にわたって、まちづくりの課題や目標・方向性、具体的な取組・行動(アクション)などについて検討を行いました。



まちづくり計画検討会のようす(第2回検討会)